

【教育目標】 総合目標 知性を磨き、心を見つめ、チャレンジする生徒



イラハッピー

- ◎ 自主性、創造性のある生徒 (知育)
- ◎ 情操豊かな生徒 (徳育)
- ◎ 健康でたくましい生徒 (体育)

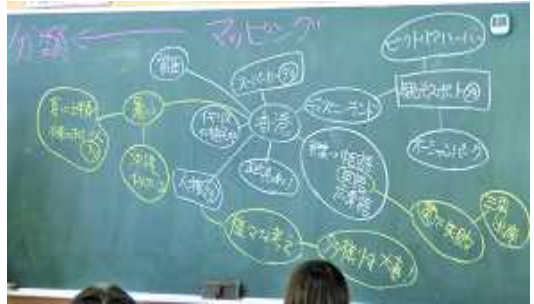
【一人一研究授業①】 ～安座間裕哉先生が1年9組で国語の授業～

本校では、『問い』を持ち、主体的に課題解決に向かう自立した学習者の育成～自学自習力を高める学習サイクルの工夫とICTの活用を通して～という校内研究テーマのもと、授業と連動した予習・復習に生徒が主体的に取り組むことにより、翌日の授業に「問い」＝「疑問や課題意識など」を持ったり、授業で学んだことを振り返って深めたりすることができるようにしたいと考えています。そして、家庭学習と授業を1つのサイクルとしてとらえ連動させることで授業自体が効率的になり生徒の活動や学びも充実していくと考えています。また、タブレットPCの持ち帰りなどにより、授業と連動した家庭学習をより充実させたいと考えています。この「自学自習力を高め、自立した学習者を育成する取組」は、今年度からの取組となりますので、家庭学習やタブレットPCの持ち帰りなどについて保護者間の皆様のご理解とご協力をお願いしたいと思います。

さて、前置きが長くなりましたが、本校では上記の校内研究テーマのもと、全ての教師が年間1回以上の公開授業を行う「一人一研究授業」に取り組んでいます。今回は、その第1回目として、安座間裕哉先生（授業改善アドバイザー）の公開授業の様子を紹介します。

◎ 安座間 裕哉 教諭（1年9組 国語）

5月10日(水)の1校時に1年9組において安座間裕哉先生の「一人一研究授業」が行われました。今回の授業は「情報を整理して書こう」という教材で、「整理が命！ 自分の〇〇をわかりやすく伝えよう」という全5時間の学習の第1時間目の授業でした。



本時の「めあて」は「情報を整理する方法を理解し、自分のテーマについてまとめよう！」というもので、「マッピング」という方法で情報を収集・整理し、自分のテーマについてまとめていく授業でした。マッピングとは、右の写真（実際の授業の板書）のように、テーマや課題を中心に書き、それに関連する語句を蜘蛛の巣状に張りめぐらせていき、考えや情報を収集・整理する方法です。

授業では、まず、裕哉先生が「香港」というテーマを示し、それについて生徒たちが家庭学習等で調べてきたことをマッピングしていき、テーマ（香港）についての情報を広く収集しました。その後、それらの情報を①基本情報、②人々の様子、③思い出・学んだこと、④これから、という4つの観点で分類し、①～④についてまとめたモデル（文章）を確認しました。

その後、生徒たちは、①ペットについて、②部活動について、③家族について、④趣味について、の4つのテーマから1つのテーマを決め、今日学習したマッピングの手法を使って、情報を収集・分類し、「自分の〇〇」について文章にまとめ、わかりやすく発表する授業に取り組んでいきました。家庭学習でも課題解決に取り組み、4時間目の授業で発表します。

1年9組の皆さんは、裕哉先生の説明や指示をよく聞き、発表や個人での課題解決に意欲的に取り組んでおり、落ち着きと活気のあるとても良い授業でした。また、先生方の参観も多く、充実した第1回目の「一人一研究授業」でした。

1年9組の皆さんは、裕哉先生の説明や指示をよく聞き、発表や個人での課題解決に意欲的に取り組んでおり、落ち着きと活気のあるとても良い授業でした。また、先生方の参観も多く、充実した第1回目の「一人一研究授業」でした。



【学級役員認証式】 ～級長・副級長・書記・出席係に認証状！～

5月12日(金)の朝の時間帯に1学期学級役員認証式がありました。当日は、校舎1階の1学年室からリモートで認証式の様子を配信し、生徒たちは各学級の電子黒板でその様子を視聴しました。学級役員は、級長、副級長、書記(2名)、出席係(2名)の計6名ですが、今回は代表で各学級の級長に認証状を授与し、その他の役員へは学級担任に認証状を授与してもらいました。1学期がスタートして1か月が経過しており、学級役員の皆さんには、授業等での号令(級長・副級長)、学級会の司会や記録(級長・副級長・書記)、出席簿の管理(出席係)などの仕事をしてもらっています。今後は、学級・学年のリーダーとして生徒会と協力して楽しく居心地の良い学級・学年・学校づくりを推進してほしいです。よろしくお願いします。



【読書旬間】 ～読書でできること「著者との対話」・「自分との対話」～

5月15日(月)～26日(金)の2週間は「読書旬間」です。本校では「朝の読書タイム」などの時間は設けていませんが、早めに登校したら10分でも15分でも読書に親しんでほしいと思います。特に、読書旬間の期間は意識的に朝や隙間時間を活用してほしいです。授業や学校行事、部活動や学校外での習い事などもとても良い体験ですが、読書も様々な知識や情報、考え方に会い、感動を体験できる素晴らしい機会です。

何と言っても、読書の良いところは、本との出会いを通して、「著者との対話」と「自分との対話」ができることです。人間の脳は常に新しい刺激を求めます。著者との対話を通して未知の世界や新しい考え方に触れ、自分との対話を通して新しい未来を創造するヒントやエネルギーを得ることは、脳を活性化させ、豊かな生活を創るきっかけや原動力になると思います。

そこで、校長室に置いてある本の中から1年生(13歳)、2年生(14歳)、3年生(15歳)にお勧めの本を1冊ずつ紹介します。興味があれば、校長室に借りに来てください。また、たまには書店に行って本を眺めてみるのもお勧めです。素敵な「出会い」が待っていますよ。

『13歳からの進路相談』(松下雅征)

『14歳の教室』(若松英輔)

『考える。動く。自由になる。』



将来について考え始める時期に「早すぎる」ということはありません。行ける学校から行きたい未来へ。働き方が変わり続ける時代の学校・仕事の見つけ方



進むべき道に迷ったとき、生きがいを見失ったとき、君を支える言葉と出会い「7つの授業」答えは誰かがくれるものじゃない。自分で見つけるものなんだ。



15歳からの人生戦略
さあ、人生を変える「勇気」の話をしよう。もし君がこの世界を不自由なら、その感じているなら、思いつくほど、君の思考と行動次第でいくらでも自由になれる～ a

※それぞれの本の紹介分は、本の帯や「はじめに」などから引用してあります。

【5月15日は復帰記念日】 ～2年「総合学習」で戦後の沖縄を学ぶ～

5月15日は「沖縄復帰記念日」です。沖縄は1945年の敗戦(沖縄戦の終結)後、米軍の統治下に置かれ、1952年4月28日にサンフランシスコ講和条約が発効し日本本土が主権を回復した後も、奄美群島や小笠原諸島などと共に引き続き米軍統治下に置かれました。1972年5月15日は、沖縄が27年間の米軍統治から解放され日本に復帰した日です。復帰51年をむかえる今年度も、2年生を中心に総合学習で「4.28」「5.15」などに関連して沖縄の戦後について学びました。

